

3. ウイルス検定

1) イネ縞葉枯ウイルス

- ・目的

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率の実態を明らかにし、防除対策の参考に資する。

- ・検定虫採集

越冬世代虫 (3月)、第1世代虫 (5月17～28日)

- ・検定時期

越冬世代虫 (5月25～26日)、第1世代虫 (5月25～5月31日)

- ・検定方法

ラッセクス凝集反応法

- ・検定結果

第1表 ヒメトビウンカの縞葉枯ウイルス保毒率
(越冬世代虫)

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率
佐世保市 俵ヶ浦	109	0	0 %
諫早市 貝津	122	1	0.8
〃 長野	24	0	0
大村市 鈴田	1	0	0
松浦市 志佐	72	1	1.4
高来町 湯江	18	0	0
吾妻町 馬場	16	0	0
〃 川床	34	0	0
大瀬戸町 雪の浦	124	0	0
県全体	520	2	0.4

第2表 ヒメトビウンカの縞葉枯ウイルス保毒率
(第1世代虫)

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率
佐世保市 宮	80	0	0 %
諫早市 貝津	46	0	0
〃 長野	113	0	0
大村市 三浦	125	1	0.8
松浦市 志佐	23	0	0
多良見町 船津	84	1	1.2
西彼町 中山	50	0	0
吾妻町 布江	81	0	0
有家町 中須川	66	0	0
富江町 狩立	25	0	0
郷ノ浦町 柳田	74	0	0
対馬	7	0	0
県全体	774	2	0.3

第3表 保毒率の推移

検定時期	保毒率
年月	
昭 60.11	11.2
61. 3	17.2
61. 5	10.9
61.11	15.9
62. 3	6.1
62. 6	5.9
62.11	3.4
63. 3	1.7
63. 6	1.8
平 1. 3	0.5
1. 5	1.5
2. 3	2.2
2. 5	1.9
3. 3	2.8
3. 5	2.0
4. 3	14.6
4. 5	8.5
5. 3	0.4
5. 5	0.3

2) イネ萎縮ウイルス

- ・目的
ツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒虫率の実態を明らかにし、防除対策の参考に資する。
- ・検定虫採集
第1世代虫：5月17～31日
- ・検定期期
第1世代虫：5月29日～6月1日
- ・検定方法
ラッセクス凝集反応法
- ・検定結果

第1表 ツマグロヨコバイの萎縮ウイルス保毒率 (第1世代虫)

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率	備考
諫早市 長野	100	0	0 %	
松浦市 志佐	14	1	7.1	
福江市 明星院	75	0	0	
多良見町 船津	50	0	0	
吾妻町 布江	100	0	0	
北有馬町 田平	115	0	0	
県全体	454	1	0.2	

第2表 ツマグロヨコバイの萎縮ウイルス保毒率の推移

検定期期	保毒率
年.月	%
昭 63. 7	4.2
63.10	0.9
平 2. 6	2.4
3. 6	1.8
4. 5	0.1
5. 5	0.2

3) 温州萎縮ウイルス

- ・検定期期：6月16日、17日
- ・検定方法：エライザ法
- ・検定結果

品 種	穂木、苗木の別	検体数	陽性	り病率
青島 谷本 木村 清見	苗 木	58	0	0
	穂 木	1	0	0
	穂 木	1	0	0
	苗 木	39	38	97.4